

# 逗子ロータリークラブ Weekly Report

2014-2015 No.13 2014年 10月 2日

**本日の進行 (12:30)**

鮫田 英一様

(海上自衛隊自衛艦隊司令官)

**一次回のお知らせ**

10月9日(木) (12:30)

北島崇史様(野村證券鎌倉支店長)

「日本経済の現状と見通し」

会 長◆藤吉一哉

会長I/O◆桐田吉彦

副会長◆三宅 謙

幹 事◆葉山太一

S A A◆山本由夫

会 計◆市川 浩

直前会長◆石田 隆

会報委員長◇宝子山泰久

例会日:第1・2・4木曜日 12:30

第3木曜日 18:30

第5木曜日 18:00

例会場:「カンティーナ」

逗子市新宿 1-3-35

TEL: 046-870-6440

事務所:逗子市逗子 1-9-26

萬屋ビル 2F

TEL&FAX: 046-873-0226



E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp

Website: http://www.zushi-rc.com/

— 2544 回 例会記録

2014年 9月 25日 —

**藤吉一哉 会長の時間**

今日は強風の中、多数の例会出席、ありがとうございます。岩堀会員、怪我からの復帰、おめでとうございます。入院中であってもプログラムの手配をして頂いております。本日のゲスト大沼様のご紹介も後程よろしくお願ひします。



9月20日、情報集会を三宅副会長宅で行いました。三宅夫人による美味しい手料理をいただきながら、松井研修リーダーによりロータリーの心得などが若い会員達に話され、楽しい時間を過ごして頂きました。ここで学んだことをクラブの活動に役立てて頂きたいと思ひます。

本日の午前中、大野会員と湘南ビーチ FM に出演して、逗子海岸ビーチバレー、市民まつりについての案内、ロータリーとはどういうクラブか、地域に根差した奉仕活動をする団体であること、30才から90才までの幅広い年齢層の会員が毎週例会で顔を合わせ意見交換が出来る仲間であることなどを話してまいりました。



**情報集会に参加した村松会員 談**

三宅副会長宅にて多数会員が参加した情報集会。ロータリーの一員として楽しく語り合えた。若い会員と一緒に話すのは良い、幸せです。こういった機会を作って頂いた事、また三宅夫人の美味しい手料理に感謝します。会員を増やし退会しない環境づくりは大切だ。

**報告**

- ・10月ロータリーレート: 1ドル 106円
- ・例会変更: 鎌倉中央 RC10/6 18:00~20:00「十三夜(お月様を見る会)」石原新一会員宅 ビジター費 5,000円
- 10/13・20 休会
- ・がバナーノミニー選出の件: 2017-18年度ガバナーノミニー候補者提案に関する告知一候補者としてクラブから最適任の会員を11/19(水)12:00までに指名委員会宛に提出する事。

(以下別紙)



ビジターの中村雅信会員  
葉山在住・東京日本橋 RC

**新会員を中心に 情報集会開催**

9月20日 於: 三宅副会長宅  
研修リーダー: 松井一郎会員



# ファッションの立場から 教育・産業について

大沼 聡 氏 (文化服装学院副院長 国際ファッション工科大学連盟元会長)

## 【出会い・縁は人生の宝物】

紹介者の岩堀さんとの出会いは、米国在住の際に出会った芸術家の古賀賢治さん等の縁によるものである。出身高校は、横浜市栄区の山手学院であり鎌倉・逗子の近辺で青春を謳歌したが、本日、逗子 RC で話をするのもそういった縁もあったかもしれない。

## 【教育について】

教育業には 1998 年から携わっている。教育の使命・ポイントは「出口」にあると考えている。「出口」とは社会であり、学院卒業後、社会で活躍し社会にプラスになる人材を輩出できることが学校の本当のレベルを測る尺度である。偏差値が高いいわゆる有名校を卒業したとしても社会に役に立たなければ、意味はない。文化服装学院の卒業生には有名なデザイナーを始めとして社会で活躍している者が多い。

また、学院では、知徳一体の教育を重視している。知識と道徳が車の両輪のように機能して初めて社会に役立つものと考えている。「徳」の教育は特に重要であり人生の内、知識を詰め込む期間はわずかであり「徳」がなければその後の人生、社会に適合してやってはいけない。そのために、教育者としての自分は心身共に充実すること・常に向上心を持つことを心がけている。

## 【産業としての洋服・繊維について】

学院では 1919 年から家政学として服装を教えているが、日本はアジアでは西洋化した最初の国であり洋服を取り入れたのも同様である。産業の発展は一般的に軽工業⇒重工業⇒サービス業の順で展開されるが、私は、日本は元の順に戻り、高付加価値を付けた者・物が生き残り、

また、洋服・繊維産業は、地産地消であるべきと考えている。現在でも日本の絹は世界一の品質である。高付加価値・地産地消のためには、社会的価値観の転換が必要であり、「徳」の教育が必要不可欠である。もちろん産業発展による西洋化にもプラスの面もあり、医療等の発達により、赤ん坊が非常に高い確率で大人になることができる社会を実現していることが挙げられる。

## 【ファッション教育の最終目的】

所有の自由・言論の自由がない国もある。究極的にはファッション・音楽等を個々人が自由に楽しめる社会は素晴らしいと言える。現在の日本が実現できていることを今後も維持できるようにすることが教育の最終目的である。



担当：岡本 久

■ニコニコBOX 本日合計 ¥33,000 累計¥512,000

藤吉君、市川君、湊屋君、矢部(房)君、三宅君、山本(由)君、岡本君、大野君…大沼様、スピーチよろしくおねがいします。  
岩瀬君…大沼様、ようこそ。  
寺嶋君…大沼様、卓話楽しみにしています。  
長野君…本日もよろしくおねがいします。  
岩堀君…本日帰ってまいりました。ご迷惑をおかけし申し訳ありません！  
鈴木(安)君…岩堀会員、無事シャバに戻れて良かったね！  
石田君…湘南ビーチFM出演、藤吉会長、大野会員お疲れ様。  
森澤君…三宅副会長、土曜日はありがとうございました。  
宝子山君…「メディアアート逗子」年々スケールアップしています。

臼井君…坂井さんのお墓参りに行きました。皆様には「くれぐれもよろしく」とのことでした。  
安藤君…弟正宣が昇天致しました。残念です。  
村松君…風強く、台風一過とはいきません。卓話楽しみです。  
山口君…久しぶりの大雨でした。  
山本(三)さん…強風です。皆様飛ばされませんよーに。  
桐田君…大風で目が点になりぶつかりそうになりました。  
矢部(光)君…ロータリーを一言で・・・他人の事を思いやり、他人の為に役立ち、職業倫理を重んじる団体・・・と答える。

【ゲスト】大沼 聡様 (文化服装学院副院長 国際ファッション工科大学連盟元会長)

【ビジター】東京日本橋 RC 中村雅信会員

【出席報告】会員数 49 名(出席免除 6 名) 出席数 26 名：出席率 59.09% 前回修正出席率 64.44%